

TMニッポン再生可能エネルギーファンド2021への投資について ～再生可能エネルギー発電事業への取組み支援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、東京海上アセットマネジメント株式会社が運営する「TMニッポン再生可能エネルギーファンド2021投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）に10億円の投資を決定しましたので、お知らせします。

本ファンドは、日本国内で固定価格買取制度（FIT）の適用を受ける再生可能エネルギー発電事業を投資対象としており、再生可能エネルギーの普及・拡大に貢献します。日本の再生可能エネルギー導入量は、2019年度に1,853億kWhまで拡大しましたが、温室効果ガス46%削減（2013年度比）の目標年である2030年度には合計3,360～3,530億kWh程度へ拡大することが見込まれています。（注1）本ファンドへの投資を通じ、国内のCO₂総排出量削減に対する社会的インパクトを創出することにより、再生可能エネルギーの普及・拡大、ならびに日本の脱炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

当社は、「ESG投融資方針」（注2）に則り、ESGの観点から投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なっていきます。

【本ファンドの概要】

名 称	TMニッポン再生可能エネルギーファンド2021投資事業有限責任組合
運営会社	TMAグリーンエナジー2021合同会社（注3）
投資対象	日本国内で固定価格買取制度（FIT）の適用を受ける再エネ発電事業
規模	120億円
当社投資額	10億円
対応する SDGs 目標	

（注1）2021年10月22日付資源エネルギー庁公表資料「第6次エネルギー基本計画」
https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/pdf/20211022_01.pdf

（注2）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

（注3）東京海上アセットマネジメント株式会社の100%出資により、本ファンド運営のために設立された特別目的会社

以 上